

“Chemical Hazard Symposium (Joint Seminar on Environmental Chemistry and Toxicology)”

～Widens the knowledge and construction of research network!～の報告

および第1回日本環境化学会北海道・東北地区部会幹事会の報告

(北海道大学 池中良徳)

2017年8月2日、日本環境化学会北海道・東北地区部会の活動として、“Chemical Hazard Symposium (Joint Seminar on Environmental Chemistry and Toxicology)” ～Widens the knowledge and construction of research network!～を開催いたしました。主催した北海道大学を始め、愛媛大学、京都大学、帯広畜産大学、酪農学園大学、千葉大学、北海道立総合研究機構、東北緑化環境保全株式会社の産官学計8組織から、延べ40名以上の方々にお越し頂き、盛会のうちに会を執り行うことが出来ました。これも一重にご発表頂きました先生や学生の皆様、運営にご協力頂きました皆様、また、本シンポジウムにご助力頂きました環境化学会のお蔭と存じます。この場をお借りして感謝申し上げます。(尚、本シンポジウムは北海道大学リーディングプログラム、愛媛大学 LaMer との共催で開催されました。)

さて、今回のシンポジウムでは“ケミカルハザード”をキーワードに“国際交流”“地方交流”“研究分野横断交流”を意識してプログラムを構成致しました。参加者の国籍もバラエティーに富んでおり、南アフリカ、ナイジェリア、エジプト、ウガンダ、エチオピア、スーダン、ポルトガル、イギリス、タイ、モンゴル、スリランカ、日本となんと12か国にも及びました。皆様ご存じの通り、環境化学討論会(本会)では毎年国際セッションが開催されております。しかし会場には限られた数の日本人しかおらず、世界各地で生じているケミカルハザードによる諸問題に対して十分な議論が出来ていない現状があるかもしれません(中野先生 言い過ぎだったらごめんなさい!)。地区部会から国際問題を考えるボトムアップが出来たら良いなと本シンポジウムを通じて感じた次第です。発表分野も多岐に渡りました。ケミカルによるエピジェネティクスに対する毒性影響、AhR を介した腎糸球体に対する毒性影響メカニズム等の毒性影響の発表から、e-waste 処理過程で生じるダイオキシン様物質発生に対する銅による触媒作用の研究、PPCP の野生動物への影響、バイオエアロゾルに関する研究まで非常に幅広い発表が行われました(要旨集は学会ホームページのお知らせからご覧いただけます)。



石塚教授による
開会の挨拶



準備に貢献してくれた
北大・水川さん(右)、愛大・田上さん(左)



シンポジウムの様子
 学生さんも積極的に質問してくれて、質疑応答も大変盛り上がりました！



集合写真

ところで、大小様々な学会が環境分野においてさえ、毎月の様に開催されている現在、地区部会を開催するメリットは何なのだろうか、実は思い悩んでおりました。何のために時間を割いて準備・開催するのか、他の学会との相違点は何なのか、、、まあ、思い悩んでいても仕方が無かったので、とりあえず地区部会の名簿を学会事務局に頂き、ファイルをあけてみてビックリ！地区部会の構成メンバーのほとんどを知らない、という現状を思い知らされました。自分自身がいかに大学を中心とした限られた人付き合いしかしてこなかったのかが浮き彫りになった瞬間です。また、清家理事からも地区部会を開催するに当たり、「地方において産官学の交流を図れる様に」との意見を頂いており、名簿を見た瞬間その真意が理解できた様な気が致しました。即ち、「ご近所付き合いを大切に下さい」と言うのが地区部会の最大の目的であり、そこから新たな交流や研究アイデアが生まれて来る気が致しました。事実、今回開催した地区部会でも研究以外にも、大学と地方研究所、民間企業の考え方がどのように違うのか、知っている様で知らなかった事に対し、すごく理解が深まった気が致しました。

今回は第 1 回目の開催という事で、まだまだ至らない点が多かったと思いますが、今後、北海道・東北地区部会(地区部会と言いつつ、実は日本の国土の 4 割をこの部会でカバーするのですが、、、)のメンバーが少しでも多く交流出来るよう活動を進めていきたいと考えております。来年度は東北で開催予定ですので、皆様のご協力どうぞよろしくお願い致します。

最後になりましたが、本地区部会を開催するにあたり、最後までお力添えを頂きました日本環境化学会柴田康行会長、大塚宜寿理事ならびに清家伸康理事に深くお礼申し上げます。



北海道・東北地区部会 幹事の3人(右から田原、小林、池中)